

地域連携 N E W S

東京都老人医療センター
地域医療連携室
〒173-0015
東京都板橋区栄町35番2号
TEL 03(3964)1141(代表)
FAX 03(3964)1392(医事課)

Vol.21 2008.9 発行

外科系各科と地域連携

東京都老人医療センター地域医療連携室副室長(外科部長) **小林 秀**



いつも当センターの地域医療連携にご理解とご協力をいただき深く感謝しております。

当センターの外科部門は、昭和47年開設の養育院新付属病院に設置されてから現在まで、35年間一貫して高齢者外科診療を専門に行ってきました。開設時より地域の先生方からご紹介の患者さんを中心に外科診療を行い、逆紹介にも努めてきた地域に密着した部門です。高齢の患者さんが主役の手術体制を構築し、低侵襲手術を心がけ、内視鏡手術・腹腔鏡手術に顕微鏡手術、各種モニター支援手術など最先端の外科手術を導入し治療成績の向上に努めてきました。平成9年から急性期高齢者専門病院としての位置付けにより、外科部門はますます高齢者QOLの改善に貢献するようになっていきます。昨年来、血管外科や各領域の血管内手術の充実を図り、増加傾向にある血管病への対策を強化しており、さらに、来年4月からは高齢者に多い心血管疾患に対応するため、心臓血管外科を開設する予定にしております。

外科部門(外科、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、婦人科、皮膚科、歯科口腔外科、麻酔科)は、それぞれの診療科独自の医療連携スタイルを持っておりますが、板橋区をはじめ区西北部二次保健医療圏との深い繋がりによって支えられております。来年度には当センターの独立行政法人化が予定されておりますが、当部門は一致団結して高齢者専門病院としての役割を追求し、“顔のよく見える”医療連携を目指していく所存です。今後ともどうぞよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

～近日開催の公開CPC～

9月25日(木曜日)午後7時30分より東京都老人医療センター 3階医局会議室
循環器科の症例。 ★多くの先生方の参加をお待ちしております(事前申込不要、参加無料)。

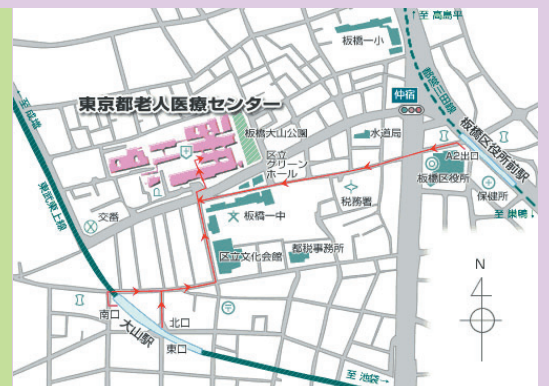


急性期高齢者専門病院
東京都老人医療センター

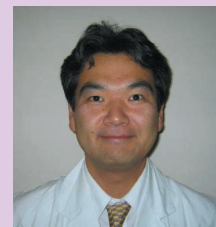
アクセス

東武東上線「大山」駅下車、南口・北口より徒歩5分
都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車、
A2出口より徒歩10分(徒歩80m/分)

また、お車でお越しの方に駐車場(駐車無料)もご用意しておりますが、駐車台数に限りがあるため、あらかじめご承知おきください。



東京都老人医療センター血管外科のご紹介



外科医長（血管外科） 中澤 達

当センターでは以下の検査機器をそろえて血管ラボを開設いたしました。血管ラボとは血管病を無侵襲に（痛みがなく放射線も使用しないで）診断できる検査室のことです。血管内科という概念がないため外科（血管外科）が診断と治療を担当いたします。

【検査機器とその機能】

- | | | |
|----------------|---|-------------------|
| ①血管超音波検査 | ⇒ | 血管の狭い場所・動脈瘤がわかります |
| ②四肢血圧・血流伝播速度測定 | ⇒ | 足の動脈硬化がわかります |
| ③脈波装置 | ⇒ | 皮膚の血流がわかります |
| ④サーモグラフィー | ⇒ | 皮膚の温度がわかります |

次のような症状のある方に外科（血管外来）の受診をお勧めします。

（下肢閉塞性動脈硬化症の診断・治療指針Ⅱ）

- 1) 動脈硬化の進み具合を知りたい方
- 2) 足が冷たい、歩くと徐々にふくらはぎが痛くなる方
- 3) 足が急に腫れて痛い方
- 4) 足の血管が浮き出てだるい、痒い方
- 5) 脳梗塞の既往や、頸動脈の狭窄、閉塞が疑われる方
- 6) 50～69歳で心血管危険因子（喫煙、糖尿病）がある方、及び70歳以上の方は無症状でも

★外来実施日（火曜日、金曜日） ⇒ 外来予約電話 03-3964-4890 よやくは

是非ご紹介ください

●下肢静脈瘤

下肢の静脈拡張が目立つ方で、治療を希望される方。



●下肢急性動脈閉塞（⇒ ※早めの受診をお勧めします）

- ①日常歩いていた方が急に冷感や疼痛のため歩けなくなった。
- ②冷感や疼痛の出現時刻（何時何分）が特定できる。
- ③心房細動がある。（これはなくても可）

Fogartyカテーテルで塞栓除去手術を行えることを想定しています。

①下肢の冷感や疼痛は脳梗塞除外のため必須です。②③ASOの急性増悪でなく塞栓症という意味で血栓塞栓除去の良い適応です。

●閉塞性動脈硬化症

足趾にチアノーゼがあり冷たい。痛い。
歩行10分以内で下腿が痛くなり、歩けない。
足趾の傷、靴擦れが治らない。足趾が黒くなった。
ABIが0.9未満で動脈硬化の状況を更に検査したい。

3DCTで病変を診断の後、内服治療、血管内治療、バイパス手術など症状とADLにより適切な治療を提供します。



●腹部大動脈瘤

大動脈瘤が4cmに拡張しているとき。

腹部は5cm、胸部は6cmが手術適応となりますが、4cmの瘤は平均0.5cm/年で拡張しますので、エコーでサイズをfollowしながら適切な治療時期と方法を説明いたします。

